

【別紙1】観光案内ソリューションの実証実験について

新たな観光案内ソリューションを展開するにあたり、インバウンド需要を捉えた外国人への観光案内に関する需要を捉えるため、NTTグループのAI技術を搭載したロボットによる観光案内の実用性を実証実験によって検証する。

各種corevo™関連技術を実装 クラウドロボティクス基盤

運用管理機能等

開発環境 (IDE)

音声認識
音声対話
音声合成

実行環境

R-env:連舞™*

デバイス連携モジュール (標準搭載)
デバイス センサー ロボット Web-API 他

クラウド

Sotaの発話に合わせた、コンテンツの表示

・Sotaとの会話 (出身国・滞在日数)
・Sotaからの質問をタブレットで回答

【英語・中国語】

・出身国の取得
・滞在日数の取得
・観光地案内
・KANSAI Free Wi-Fi (Official) アプリの案内

Sota

デジタルサイネージ

タブレット

対話例

はじめまして。どこから来たの？

アメリカだよ。

どのくらい日本にいるの？

5日間だよ。

ゆっくりしていいね。ところで、画面に出ている観光地で興味がある場所はある？
タブレットの番号を押してね。

(番号ボタンを押す)

(選ばれた観光地の照会)

最後に、KANSAI Free Wi-Fiアプリの紹介をするね。

僕の案内はどうだった？

(ボタンを押す) Good or Bad

各種corevo™関連技術を実装したクラウドロボティクス基盤を活用し、ヴイストン社のSota™をはじめとする各種コミュニケーションロボットや、各種センサ・デバイスの柔軟な連携を実現。

※「R-env:連舞™」: corevo™関連技術の一つであり、人を取り巻く各種デバイス、ロボット等をクラウド上で容易に連携制御できる技術